

表 助産師教育のコア内容におけるミニマム・リクワイアメンツ項目と例示

(2006 年度総括)

4. 出産・育児期の家族 ケア(項目数:3)

(No. -* はミニマム・リクワイアメンツ項目)

No	教育内容	例示
* 42	出生児を迎えた生活環境や家族の アセスメントと支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産褥早期の褥婦に対し、家族の構成と役割関係や、家族の三者関係への変化、日常生活時間、消費生活など生活環境のアセスメントできる。 2. 産後 1 カ月までの新生児と母親・父親・家族のアタッチメント形成が順調であるかアセスメントし、支援ができる。
* 43	家族間の人間関係のアセスメントと 支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産後 20 日目の新生児家庭訪問時、家族メンバーの健康状態と、家族メンバー各々の発達課題のアセスメントができる。 2. 1 カ月健診時の母親と家族に対して、児を加えた家族の機能と役割の変化、特に、家事や育児の協力・分担が家族メンバー相互の理解のもとで行われているかアセスメントできる。 3. 新たな家族を持った夫婦が、親役割を持つ夫婦関係へと適応する状況と、妻・母親と夫・父親の関心事をアセスメントできる。 4. 生活を共にする家族の乳児への関心と、育児への関与や役割から生じる人間関係をアセスメントできる。 5. 母親・父親役割とアイデンティティ形成に向けて相互の意見を傾聴し、家族間の意見調整への支援ができる。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母親は子ども中心の家庭生活を展開し、育児に伴う睡眠時間の減少、食事時間の短縮、家族や支援者による家事の手伝いなど生活全体に変化が生じる。母親の健康状態は育児に伴う身体的側面、精神的側面(マタニティーブルーなど)と、出産体験の感情整理ができていないかをアセスメントできる。 ・ 発達課題では母親の育児行動の自立レベルをアセスメントできる。家族メンバー各々の健康状態と、乳児が加わった家族関係や役割変化・役割形成についてアセスメントできる。
* 44	地域社会の資源や機関を活用できる 支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の生活圏における母子の支援に関する公的機関・地域育児グループ・自助グループなどの社会資源を把握し、対象が活用できるよう支援する。

注記:診断と判断の使用法:正常な場合は“診断”、異常の可能性がある場合は“判断”あるいは“判別”を使用